令和６年　　５月２７日

令和５年度　特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学　校　名	管理機関名	設置者の別
足利市立小俣小学校	足利市教育委員会	公立

１．特別の教育課程の内容

（１）特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成１５年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

２．特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（１）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

⊙計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

（２）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

⊙実施している

・実施していない

（３）自校における評価

・第１学年から月１回の英会話学習の実施により、英語によるコミュニケーシの基礎的資質づくりにつながっている。

・第１学年からの英会話学習の実施により、子供たちは英語に慣れ親しむ様子がうかがえ、第３学年からの週１時間の英会話学習がスムーズに展開されている。

・英会話学習の目的である「英語に慣れ親しむ」をよく理解した上で、今後も学習活動を展開することが必要である。

（４）学校関係者による評価

＜児童＞

・英会話室での座学ではなく、自由な雰囲気の中で、ＡＬＴやＥＡＡとの英会話学習に取り組み、グリーティングやイングリッシュソング、ゲームなどを楽しんでいる。

・令和２年度から実施されている「英語チャレンジデイ」を児童も楽しみにしており、令和５年度も児童に好評であった。

＜保護者＞

・英会話学習を実施後、その日に学習した単語やセンテンスを進んで使うなどの様子が見られる。

・高学年では、自主学習として、英語ワークや参考書などを活用して取り組む様子も見られる。

３．　実施の効果及び課題

・学習後には、教室・廊下等で「ハロー！」「グッド モーニング!」「グッバイ！」など、英語に自然に慣れ親しむ児童が増えてきている。引き続き英語が好きな児童を育てていきたい。

・令和２・３年度は、英語専科が配置されたことにより、ＡＬＴやＥＡＡ、専科教員、担任の３人で英会話学習が展開され、児童とのコミュニケーションを深めることができた。令和４・５年度は英語専科が配置されていなかったが、児童が英語に慣れ親しみ、ＡＬＴやＥＡＡ、担任との英語によるコミュニケーションの向上につながった。

４．課題の改善のための取組の方向性

・昨年度に引き続き今年度も、担任が T1 の役割を担い、より積極的に学習が展開されると良い。

・ＡＬＴやＥＡＡとの担任との打合せ時間を確保することで、より授業の目的に合った英会話学習を展開していく。

・「英語チャレンジデイ」については児童に好評であったので、さらに工夫改善をして実施することが望まれる。